

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

( 00361 )

事務事業名称	地区整備計画	款	05	項	01	目	02	事業	001	整理番号	349
現担当課名	市街地整備課	係名	地区計画係					連絡先電話番号	3373	昨年度整理番号	354
上位施策No・施策名	04 地域の魅力あふれる多心型まちづくり							予算事業区分	既定事業		
事業開始	昭和44年度	実行計画事業	目標	02	施策	04	計画事業	03			
令和 5年度担当課名	市街地整備課							事業評価区分	一般		

## 令和 5年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	区内全域及び全住民、事業者など	根拠法令等	( 1 ) 都市計画法 ( 2 ) 建築基準法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	住環境の向上とより良い市街地形成を目指し、地域のまちづくりの方針を示した計画や地区計画、まちづくりルール等の制度を活用し、地域住民、事業者、行政の連携による地域の特性を活かしたまちづくりを進める。	活動指標	地区計画等策定区域面積 (累計)
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	地域の合意形成の状況等を踏まえ、地区計画等の策定により、良好な市街地形成や保全等を図る。地区計画に位置付けた地区施設 (地区計画道路等) の整備により、市街地整備を推進する。地区計画等の内容に沿った建築計画の届出により、良好な住環境の形成を誘導する。	指標名 ( 1 )	地区計画等届出件数
		指標名 ( 2 )	
		成果指標	地区計画が都市計画決定された地域における道路用地取得率
		指標名 ( 1 )	地区計画道路用地の取得面積累計 ÷ 取得計画面積【行政】
		指標名 ( 2 )	地区計画等策定率
		指標説明	地区計画等策定区域面積 ÷ 杉並区面積【行政】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1	ha	277	277	277	277	277	100.0	71.5	
活動指標 ( 2 )	2	件	157	144	140	140	112	80.0		
成果指標 ( 1 )	3	%	89.66	93.25	89.66	93.87	89.75	95.6		
成果指標 ( 2 )	4	%	8.15	8.15	8.15	8.15	8.15	100.0		
事業費	5	千円	15,887	2,977	830	6,186	4,425	11,007	特記事項 令和5年度は蚕糸試験場跡地周辺地区地区計画道路の幅員用地買収が1件あり、事業費が増加しております。また、折衝を進めていたましたが、測量に至らなかった案件もあり、71.5%の執行率となっております。	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6	千円	41,965	35,041	35,019	34,936	29,633		37,670
	上記以外の職員	7	千円	0	0	0	0	0		0
総事業費 (5+6+7)	8	千円	57,852	38,018	35,849	41,122	34,058	48,677		
財源	受益者負担分	9	千円	0	0	0	0	0		0
	国・都からの補助金	10	千円	0	0	0	0	0		0
	その他の補助金等	11	千円	0	0	0	0	0		0
	特定財源計 (9+10+11)	12	千円	0	0	0	0	0		0
	差引：一般財源 (8-12)	13	千円	57,852	38,018	35,849	41,122	34,058		48,677

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 5年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 349

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	蚕糸試験場跡地周辺地区 まちづくり用地の管理委託	1	件	180
	蚕糸試験場跡地周辺地区 地区計画道路用地買収 (7.91㎡)			3,860
	その他 ( 全国地区計画推進協議会負担金ほか )			385
取組成果	<p>「蚕糸試験場跡地周辺地区地区計画 (昭和58年度決定)」の都市計画決定以降、「阿佐ヶ谷駅北東地区地区計画 (令和元年度決定)」まで、12地区で都市計画決定を行い、地区計画の届出による良好な住環境の形成に向けた取組を行いました。</p> <p>蚕糸試験場跡地周辺地区では、地区計画道路の拡幅用地を1件買収しました。また、新たに2件の用地買収に向けた折衝を開始しました。既に取得した用地についてはまちづくり用地として適切な維持管理に努めました。</p>			

## 令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>「蚕糸試験場跡地周辺地区地区計画 (昭和58年度決定)」の都市計画決定以降、「阿佐ヶ谷駅北東地区地区計画 (令和元年度決定)」まで、12地区で都市計画決定を行いました。</p> <p>都市計画決定された地区計画等の地区数 事業開始時 (昭和44年度) 0地区 令和元年度12地区</p> <p>また、下高井戸駅周辺地区では地域の課題解決や住環境向上とより良い市街地形成を図るためのまちづくりが進んでいます。そこで、地域の特性を踏まえたまちづくりを進めるにあたり、各種まちづくりの手法などを参考にまちづくりのルールである「地区計画」の内容を検討し令和7年度の地区計画策定を目指します。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>地区計画が都市計画決定以降、蚕糸試験場跡地及び気象研究所跡地周辺地区地区計画、宮前二丁目地区地区計画については、道路用地の取得を進めてまいりました。(気象研究と宮前二丁目については用地取得完了。)道路用地取得面積 計画 8,178㎡ 令和5年度までの実績 7,340㎡ (取得率89.75%) 蚕糸試験場跡地周辺地区の地区計画道路の用地取得については、建替えの機会を捉えて事業を進めていますが、建替情報や土地取引情報の収集が課題です。地域住民の協力を得ながら、定期的に土地情報を確認するなどして適切なタイミングで交渉を開始できるよう努めます。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>地区計画が定められた区域内において、届出を通じて地区計画等の内容に沿った良好な住環境が形成されており、地域の特性を踏まえたまちづくりの実現に向けて着実に成果を上げています。下高井戸駅周辺地区では、地域特性を踏まえ各種まちづくりの手法などを参考にまちづくりのルールである「地区計画」の内容を検討し、世田谷区地域の皆様とまちづくりを進めています。今後、「街づくり懇談会」での意見等踏まえ計画策定していくことが課題です。なお、蚕糸試験場跡地周辺地区の地区計画道路については、今年度2か所の用地を取得するための折衝を行っており、年度内に取得予定です。</p>
事業の方向性・改善策	<p>今後も各地域の課題解決や住環境維持のために、住民発意によるまちづくりの取組増加が予想されます。そのため、地域の特性を踏まえながら課題等を解決していく地区計画制度を活用したまちづくりの推進を目指します。</p> <p>下高井戸駅周辺地区では、地区の特性を生かしたまちづくりを推進するため世田谷区と連携して令和7年度の地区計画策定を目指します。</p> <p>蚕糸試験場跡地周辺地区の地区計画道路については、取得した道路用地拡幅整備を行いつつ、新たな用地取得については、地域住民の協力を得ながら、定期的に土地情報を確認するなどして適切なタイミングで交渉を開始できるよう努めます。</p>

## 令和 7年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>既決定の地区計画区域については、地区計画の届出書で提出された建築計画が地区計画の制限に適合しているか確認することにより、今後も良好な住環境の形成を誘導していきます。</p> <p>下高井戸駅周辺地区では、令和7年度に地区計画を策定し、住環境向上とより良い市街地形成の実現を進めます。</p> <p>蚕糸試験場跡地周辺地区の地区計画道路については、令和6年度取得予定の2か所の道路用地拡幅整備を行います。</p>	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

( 00365 )

事務事業名称	まちづくり活動の支援			款	05	項	01	目	02	事業	004	整理番号	352
現担当課名	都市整備部管理課		係名	庶務係			連絡先電話番号	3503		昨年度整理番号	357		
上位施策No・施策名	04 地域の魅力あふれる多心型まちづくり							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成12年度	実行計画事業	目標	02	施策	04	計画事業	04					
令和 5年度担当課名	都市整備部管理課							事業評価区分	一般				

## 令和 5年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	区内で自主的なまちづくり活動を行っている団体等	根拠法令等	( 1 ) 杉並区まちづくり条例 ( 2 ) 杉並区まちづくり助成要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	まちづくりの機運を高め、地域の活性化及び住環境の向上を図るため、まちづくりルールの策定など地域の住民主体によるまちづくり団体の活動を支援する。	活動指標	活動助成団体数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	まちづくり団体や認定されたまちづくり協議会の活動経費の一部を助成する。まちづくり団体等の活動に対し、まちづくりに関する講習会や計画案の作成等、専門的な支援が必要と認める際にまちづくりの専門家を派遣する。	指標名 ( 1 )	活動助成団体数
		指標名 ( 2 )	コンサルタント派遣団体数
成果指標	指標説明	指標名 ( 1 )	活動助成により活動が充実したと回答した助成団体の割合 【区民】
		指標名 ( 2 )	コンサルタント派遣により活動が充実したと回答した助成団体の割合 【区民】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 団体	6	8	6	8	12	14	150.0	91.5
活動指標 ( 2 )	2 団体	1	2	1	2	1	2	50.0	
成果指標 ( 1 )	3 %	100	100	100	100	100	100	100.0	
成果指標 ( 2 )	4 %	100	100	100	100	100	100	100.0	
事業費	5 千円	709	1,332	657	1,384	1,266	1,855	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	3,587	2,086	4,492	2,080	4,437	2,511	まちづくり活動助成団体数の増加が見込まれるため、事業費が増えています。
	上記以外の職員	7 千円	1,838	1,838	1,839	1,839	1,904	1,904	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	6,134	5,256	6,988	5,303	7,607	6,270		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	6,134	5,256	6,988	5,303	7,607	6,270	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 5年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 352

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	まちづくり活動団体助成	12	団体	594
	まちづくりコンサルタント派遣	1	団体	272
	その他 ( 講師謝礼の支出ほか )			400
取組成果	<p>まちづくり活動助成やコンサルタント派遣を利用した団体からの活動報告では、イベントの開催や冊子の作成など、地域での活動の幅が広がり充実した活動ができたとの回答がありました。</p> <p>まちづくり活動団体助成の支援は、合計12団体 ( 新規6団体、継続6団体 ) から申込みがあり、助成を行いました。</p>			

## 令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>まちづくり活動助成の団体数は、前年比180%の数値で大幅に増加しています。</p> <p>一方で、まちづくり団体の活動の成果を区民に周知されていないことや活動の継続性が課題となっています。</p> <p>今後、まちづくり団体が区や事業者、団体間との協働により、まちづくり活動を継続させて活性化していくための支援のあり方について検討する必要があります。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 ( 年度末までの見込含む )	<p>まちづくり活動団体助成は、7団体 ( 新規4団体、継続3団体 ) への助成を予定しています。</p> <p>まちづくりコンサルタント派遣は、1団体から申込みがあり派遣を実施しました。</p> <p>予算の執行については、助成の申込みがあった団体数が計画より少なく、事業全体では予算の5割程度の執行となる予定です。</p>
事業の方向性・改善策	<p>団体が継続してまちづくり活動を行っていくうえで必要な支援を検討するため、まちづくり団体の活動状況について調査を行います。また、団体の活動を広く区民に周知するため、区のSNSや公式ホームページでイベント情報などの活動内容を紹介します。さらに、区や事業者、団体間との協働によりまちづくり活動を支援していくため、区が運営する地域団体情報サイトの活用や区による団体のイベント開催時の相談会、サービス情報の提供などを行っていきます。</p>

## 令和 7年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>この助成制度を活用したまちづくり団体から高評価が得られている一方で、助成の終了後は、団体の活動状況を把握できていないことや継続的な支援が行われていない現状があります。今後、区民主体の地域活動の継続性や地域の活性化につなげていくため、必要な予算のほか、制度の検討に必要な予算を計上します。</p>	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

( 00368 )

事務事業名称	都市再生事業			款	05	項	01	目	02	事業	007	整理番号	355
現担当課名	市街地整備課		係名	荻窪まちづくり担当			連絡先電話番号	3382		昨年度整理番号	360		
上位施策No・施策名	04 地域の魅力あふれる多心型まちづくり							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成23年度	実行計画事業	目標	02	施策	04	計画事業	01	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和 5年度担当課名	市街地整備課							事業評価区分	一般				

## 令和 5年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	荻窪駅周辺地区	根拠法令等	( 1 ) 都市計画法、都市再開発法 ( 2 ) 杉並区まちづくり基本方針、杉並区まちづくり条例
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	○荻窪駅周辺のまちの特長や個性を生かしつつ、課題である駅南北の連絡機能の強化や回遊性の向上、防災性の向上などに、ハード・ソフトの両面から取り組むことにより、その魅力を更に高め、にぎわいと住環境が調和した、住み続けたい、訪れたいまちを目指します。	活動指標	地元住民や各種団体、関係事業者等との打合せ回数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	「荻窪駅周辺まちづくり方針」の具体化に向け策定した「荻窪駅周辺 都市総合交通戦略」及び「荻窪の歴史・まち・人を想う15の提案」を推進する。荻窪駅の利便性やバリアフリー機能の向上のため、案内サインの一部整備や令和6年度に整備予定の駅構内図のデザインの作成を行う。地域の回遊性向上のため、荻窪駅前等に設置する観光案内板や路面案内ステッカー等の設置場所やデザインを決定する。荻窪の地域ロゴマークの普及啓発を行う。	指標説明	普及啓発活動等の回数
		指標説明	荻窪駅周辺まちづくりニュース等の発行及びまちづくり周知イベントの開催（令和4年度追加）回数の合計
		成果指標	駅周辺の満足度（荻窪駅）
		指標説明	荻窪駅を普段利用する方の、駅周辺の満足度【区民①】
		指標説明	

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 回	26	40	58	60	60	60	100.0	77.7
活動指標 ( 2 )	2 回	2	3	5	4	4	4	100.0	
成果指標 ( 1 )	3 %	82.6	81.7	77.0	82.2	78.2	82.6	95.1	
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	5,579	10,660	9,668	10,652	8,276	12,220	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	27,699	33,372	37,681	33,272	36,749	33,484	予算執行率が90%未満となった主な理由は、荻窪駅周辺観光案内板デザイン業務委託において落札差金が発生したことによる費用減少が挙げられます。また、成果指標の変更理由は、成果を区民の視点で捉えられる「駅周辺の満足度（荻窪駅）」としました。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	33,278	44,032	47,349	43,924	45,025	45,704		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	1,000	600	2,600	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	909	1,136	1,189	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	909	2,136	1,789	2,600	
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	33,278	44,032	46,440	41,788	43,236	43,104		

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 5年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 355

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	荻窪駅周辺観光案内板デザイン業務委託	1	件	273
	荻窪駅周辺サイン整備業務委託	1	件	1,663
	荻窪駅構内図掲載データ作成業務委託	1	件	990
	荻窪まちづくりだより等の配布業務委託	74,621	部	2,055
	その他 ( 管理経費、印刷費、消耗品購入費ほか )			3,295
取組成果	<p>荻窪駅周辺の回遊性向上の取組として、荻窪駅前等に設置する観光案内板について案内施設の関係者と協議し、設置場所やデザインを決定しました。また、荻窪駅周辺の利便性の向上やバリアフリー設備の案内表示の改善に向け、荻窪駅改札外の一部サインの整備や令和6年度に整備予定の駅構内図のデザインを作成しました。さらに、荻窪まちづくりだより等を地域の方へ配布し、令和6年の荻外荘公園開園に向けた荻窪駅周辺のまちづくりの取組を周知しました。</p>			

## 令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>荻窪駅周辺は、区内最大の交通結節点であり、商業・業務、公共サービス、文化・教育などの都市機能が集積する杉並区の中心的な拠点となっています。一方で、駅前広場機能が必ずしも十分でないことや区内唯一のJR地上駅であることによる駅南北の商店街の分断、回遊性の不足など、他のJR3駅と比べて都市の芯としての課題を抱えています。こうした現状のもと、杉並区が住宅都市としての価値をさらに高めていくため、その潜在能力を十分に生かした魅力的でにぎわいのあるまちづくりを推進していくことが求められています。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>荻窪駅周辺のまちの特長・課題を踏まえ、まちの動向や社会経済状況の変化に対応しながら、区民・事業者・行政が一体となって戦略的・計画的にまちづくりを推進していくため、まちの将来像と目標、その実現に向けた取組の方向性を明らかにする「荻窪駅周辺まちづくり方針 (平成29年4月)」を策定しました。「荻窪駅周辺まちづくり方針」で掲げられたまちの将来像の実現に向けて、荻窪駅周辺の交通環境における課題に対応するため、「荻窪駅周辺 都市総合交通戦略 (平成31年1月)」を策定し、また「歴史文化の薫り漂う、住んでよし、訪れてよしのまち」の実現のため、「荻窪の歴史・文化・人を想う15の提案」を策定し、推進しています。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和6年12月の荻外荘公園の開園に合わせ、地域の課題となっている荻窪駅周辺の回遊性及び利便性向上に向けた取組を実施しています。</p> <p>回遊性向上の取組として、荻窪駅前等への観光案内板の設置や荻窪駅周辺の歴史的・文化的資源を道案内する路面案内ステッカー等を整備する工事の実施とともに、荻窪駅周辺に点在する歴史的・文化的資源等の持つ新たな魅力を発見・発信すること等を目的とした荻窪のまち歩きイベントの開催に向けた準備を行っています。</p> <p>利便性向上の取組として、荻窪駅改札外の案内サインや駅構内図について鉄道事業者と連携した整備に向け進めています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>荻外荘公園の開園に向けた地域の回遊性の向上に向けた取組を、総合的・一体的に推進するため、令和4年度に都市再生整備計画を策定し、令和5、6、7年度の3年間で計画的に実施します。荻窪三庭園を中心とした、駅周辺に点在する歴史的・文化的資源を回遊するスムーズなまち歩きをサポートするため、荻外荘公園の整備に合わせ、観光案内板及び路面案内ステッカー等を整備します。</p> <p>また、地域の交通利便性・回遊性の向上に向け、既存の荻窪駅東口改札前地下通路の安全性・快適性を更に高める取組を検討します。</p>

## 令和 7年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>荻外荘公園の開園に向けた総合的・一体的な施策推進のため、令和4年度に策定した都市再生整備計画に基づき、令和5、6、7年度の3年間で回遊性の向上に関する取組を計画的に実施します。令和7年度は、荻外荘公園の開園に合わせ、荻窪三庭園を中心とした、駅周辺に点在する歴史的・文化的資源を回遊するスムーズなまち歩きをサポートする観光案内板の整備を令和6年度に引き続き実施します。</p> <p>また、地域の交通利便性・回遊性の向上に向け、既存の荻窪駅東口改札前地下通路の安全性・快適性を更に高める取組を検討するため、人流調査や既存通路に関する調査等を実施します。</p>	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

( 00369 )

事務事業名称	多心型まちづくりの推進				款	05	項	01	目	02	事業	008	整理番号	356	
現担当課名	市街地整備課		係名	拠点整備係		連絡先電話番号	3383		昨年度整理番号	361					
上位施策No・施策名	04 地域の魅力あふれる多心型まちづくり								予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和44年度	実行計画事業	目標	02	施策	04	計画事業	02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
令和 5年度担当課名	市街地整備課								事業評価区分	一般					

## 令和 5年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	区民及び駅周辺地域来訪者 再開発事業などの民間再開発を行おうとする者 鉄道事業者	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	都市計画法、都市再開発法
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	駅周辺地域を中心に、地域特性を活かしたにぎわいと多彩な魅力のあるまちづくりを進める。 民間再開発事業等を支援する。	活動指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ）	駅周辺まちづくりに関する懇談会・意見交換会等の開催数  駅周辺まちづくりに関するニュース等の発行回数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	ハード施策とソフト施策の連携を強化し、地域特性を活かしたまちづくりを推進する。 まちづくりの相談や指導を通して、地権者の組織化等の活動を支援する。 助成制度を活用し、民間再開発事業の活動を支援する。	成果指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ） 指標説明	駅周辺まちづくり方針等の策定数  駅周辺まちづくり方針等の策定【行政】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 回	7	5	6	5	10	5	200.0	37.4
活動指標 ( 2 )	2 回	3	3	1	3	3	3	100.0	
成果指標 ( 1 )	3 件	0	1	0	1	1	1	100.0	
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	13,561	18,510	10,474	15,969	5,972	16,671	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	28,533	33,372	36,599	32,607	35,074	0	予算執行率が90%未満となった主な理由は、阿佐ヶ谷駅北東地区で公民連携まちづくりについて委託予定であったが、令和5年度は「阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくりを振り返る会」等を開催したため、当該委託を次年度に見送ったことによる費用減少が挙げられます。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	42,094	51,882	47,073	48,576	41,046	16,671		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	1,500	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	1,500	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	42,094	51,882	45,573	48,576	41,046	16,671	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 5年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 356

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	中杉通り沿道まちづくり検討支援業務委託 (令和5年度)	1	件	2,760
	阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくりに関する説明会進行管理等業務委託	1	件	500
	阿佐ヶ谷駅北東地区周辺まちづくり模型作成業務委託	1	件	498
	区長と区民の対話集会 (さとことプレスト) 進行管理業務委託	1	件	281
	その他 (負担金、事務費ほか )			1,933
取組成果	<p>各地域のまちづくりについて、阿佐ヶ谷駅北東地区では、これまでのまちづくりの取組みを振り返り、今後の進め方等について考えるための対話の場として、振り返る会やオープンハウス等を開催しました。中杉通り沿道では、安全・快適な歩行者・自転車空間の改善に向け、東京都第三建設事務所等の関係機関や関係団体と意見交換を行うとともに、中杉通りのパーキングメーター利用実態把握のためのアンケート調査を行いました。富士見ヶ丘駅周辺では、区民主体のまちづくりを実現するため、意見交換会等を開催するなど、地元住民の意見を聴取したうえでまちづくり方針を策定しました。</p>			

## 令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>公民連携まちづくりでは、構築をしたエリアプラットフォームを発足し、エリアプラットフォームの中でエリアマネジメントに向けた協議等を行う必要があります。また、「阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり計画」の具体化・実現化を図るため、未来ビジョンの策定を進める必要があります。中杉通り沿道まちづくりでは、交通管理者や道路管理者と課題 (安全な通行空間の確保) の共有、周辺商店会との意見交換、他自治体のヒアリングを行ってきました。そのような中、駐車違反対策・荷捌き対応の代替策無くパーキングメーターの撤去を行うことが難しい等、課題が多いため、引き続き、利用者へのアンケートなどの実態調査を行いながら、関係機関と協力し対応を検討していきます。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくりでは、令和6年度から、地域の課題や将来像等の共有を行い、まちづくりについて話し合う新たな対話の場として「あさがやまちづくりセッション」を開催します。西荻窪駅周辺まちづくりについては、今後は、(仮称)デザイン会議にて新担当課にて議論を進めていきます。浜田山駅南口の整備については、区民の安全性・利便性の向上のため、引き続き地域の動向を注視し、京王電鉄の協力を得ながら、南口の整備について検討する必要があります。富士見ヶ丘駅周辺まちづくりでは、歩行者や自転車が安全で快適に利用できるような具体的な対策を求める意見が多いため、引き続き、交通管理者や道路管理者と情報共有を図りながら、まちづくり全体としての課題解決に向けた具体的な対策について、地域の意見を聞きながら検討を進める必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくりでは「あさがやまちづくりセッション」を2回 (8月時点) 開催しました。また、阿佐ヶ谷駅北東地区の公民連携まちづくりにおいて、令和7年度にかけて行う未来ビジョン策定と活動の周知や体制の拡大に向けて業者選定の公募型プロポーザルを行う準備・調整を行っています。中杉通り沿道まちづくりでは、調査委託により、今後、パーキングメーター利用者へのアンケート等の実態調査を行い、課題解決策等の整理をします。富士見ヶ丘駅周辺では、秋に予定しているオープンハウスの開催に向け、関係所管での調整を進めております。各地域のまちづくりにおいて、今後も地元住民の意見を聴取したうえでまちづくり方針等に基づく取組を推進していきます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくりでは「あさがやまちづくりセッション」を年度内にさらに4回程度開催予定です。阿佐ヶ谷駅北東地区の公民連携まちづくりにおいて、来年度にかけた未来ビジョンの策定を通じ、取組の具体化や体制づくり、周知啓発等に取り組みます。中杉通り沿道まちづくりでは、自転車走行空間確保のため、課題解決策等の整理を行います。浜田山駅南口の整備については、区民の安全性・利便性の向上のため、引き続き地域の動向を注視し、京王電鉄とも協力しながら南口の整備について検討します。富士見ヶ丘駅周辺まちづくりでは、秋に開催予定のオープンハウスにおいて、まちづくり方針の周知を図るとともに、丁寧に地元住民との対話を行いながら、関係所管と連携して具体的なまちづくりの取組を進めていきます。</p>

## 令和 7年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>今年度から新たに行っている阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくりにおける対話の場において課題の抽出・分析や対応の方向性等に関して区民と協働して検討するプロセス・体制を構築します。この検討・開催等に必要な経費を計上します。阿佐ヶ谷駅北東地区の公民連携まちづくりにおいて、未来ビジョンの策定を通じ、上記対話の場等との連携も行いながら、取組の具体化や体制づくり、周知啓発等に取り組みます。この検討や活動に必要な経費を計上します。その他の事業についても引き続き必要な経費を計上します。</p>	